



目的：「観光」×「商業」×「暮らし」でまちを描こう！

[2時間30分]

10:00

ステップ1：はじめに

- 15分 ・あいさつ
・第3回ワークショップの成果を確認します。
・本日のプログラムの説明

10:15

ステップ2：昨年度のワークショップの内容を

「観光」「商業」「暮らし」の観点から再整理します

- 20分 ・「からと」の現状資源（観光・商業・暮らし）を説明します。
・過去3回のワークショップから浮かび上がってきた「からと」の3つのキーワードについて全体でスライドを見ながら改めて理解します。

[キーワード1] 観光と暮らしをつなぐ商業拠点

[キーワード2] 暮らしと商業を取り囲む観光拠点

[キーワード3] 歴史や風景に結びつく暮らしの拠点

10:35

ステップ3：誰にとっての「観光」、「商業」、「くらし」なのか、

そんな観点から「からと」の可能性を考えてみよう

50分 ・「からと」における「観光」、「商業」、「くらし」の3つの要素について、以下の A、B 二つの視点で考えてターゲットカードに書き込み、それを C (分野別ターゲット表) にセットで貼ってみましょう。
この A → B → C の流れを繰り返してください。

<ターゲットの事例>

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| ①外国人観光客 | ②日本人団体客 | ③家族連れ観光客 |
| ④下関市民 | ⑤近隣住民 | ⑥外航クルーズ船の乗務員 |
| ⑦唐戸市場からの観光客 | ⑧地区の高齢者 | ⑨地区の子育て世帯 |
| ⑩熟年夫婦 | ⑪地区の子どもたち | ⑫若者 |
| ⑬働く単身者 | ⑭移住者 | ⑮その他 |

A. ターゲットの事例を参考に、もしも私が〇〇だったら、「からと」でどんなことがしたいか考えてみましょう。

例)

もし私が**外国人観光客**だったら…

(・ 歴史的な場所を歩きたい)

◀ターゲットカード A

B. 続いて A を満たすために「からと」として何が提供できるか、ステップ2で地図に整理されている施設・サービスを参考に考えてみましょう。さらに足りない施設やサービスがあれば、それは何かを考えてみましょう。

例)

外国人観光客に対して

((現状の資源)
・ 赤間神宮にどんな歴史があるのか
知ってもらいたい)

((足りないもの)
・ 多言語案内板や市民ボランティア
のガイドがあるといい)

◀ターゲットカード B

C. 分野別ターゲット表に貼ってください。

<分野別ターゲット表>

観光分野	
商業分野	
くらし分野	

11:25

休憩(5分)

11:30

ステップ4：将来の「からとの軸と拠点」のイメージを広げよう

- 5分 ・みんなの意見を踏まえた現在の「からと」の骨格をまとめたイメージ図を事務局からお示しします。
- 30分 ・ステップ3で議論した「足りない施設やサービス」をハート型の付箋ふせんに書いて事務局が示した現況の骨格イメージ図に貼り付け、未来の「からと」でどんな軸や拠点ができるか提案してください。示している軸や拠点の形が変わっても構いません。そして新たに考えられる軸や拠点が、どのような場所になるのか・したいのか、その方向性が分かるような名前を付けてください。

12:05

ステップ5：グループで検討した内容を全体で発表します

- 15分 ・ステップ3、4で話し合った成果について、発表していただきます。

12:20

ステップ6：まとめ

- 10分
- ・本日のまとめをします。
 - ・「感想カード」を書いて下さい。
 - ・次回の予定

12:30

終了